

SHOWA UNIVERSITY NEWS

9

SEP. 2023

昭和大学新聞

通巻 第615号 (奇数月発行)

鷺沼校地新キャンパス整備計画
寮祭2023～千紫万紅～を開催



令和9年度開校を目指して——

4学部・約2,000人が一堂に学べる「鷺沼キャンパス」開設を計画

昭和大学は現在、鷺沼校地に新キャンパス整備を計画しており、8月8日に本学主催の「昭和大学鷺沼校地 新キャンパス整備計画の概要に関する説明会」を開催しました。



昭和大学は、上條秀介博士が昭和3年（1928年）に創設した昭和医学専門学校を起源とし、建学の精神である「至誠一貫」のもと、社会に貢献できる優れた医療人の育成に努めてまいりました。現在は、医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部を有する医系総合大学となり、充実した教育・研究・診療機関として役割を果たしております。

このたび、鷺沼校地（神奈川県川崎市宮前区鷺沼4丁目）に新キャンパスを開設する計画を川崎市に提出し、2023年8月8日に本学主催の説明会を開催しました。

本計画は、旗の台キャンパス（東京都品川区旗の台1丁目）の校舎整備計画の一環として行うもので、医学部、歯学部、薬学部の2・3年次と4年次の一部、保健医療学部の2～4年次、助産学専攻科の学生約2,000人が学ぶキャンパスとして整備し、医系総合大学である本学のより一層の発展を目指すものです。

今後のスケジュールについては、川崎市と調整を進め、令和9年度のキャンパス開校を目指して進めてまいります。

小口勝司理事長 「昭和大学鷺沼校地 新キャンパス整備計画について」



このたび、本学の創立100周年記念事業の一つとして、検討してきた旗の台キャンパスの校舎整備計画の一環で、令和3年に取得した鷺沼校地（川崎市宮前区）を「鷺沼キャンパス」として開設する計画を川崎市に提出いたしました。

医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部、助産学専攻科の異なる学部・学科の学生約2,000人が一堂に会して学べる新キャンパスとなります。この実現により、本学の特色ある学部連携教育ならびにチーム医療教育のより一層の充実に繋がると期待しております。

引き続き「日本一の医系総合大学」を目指し、教育・研究・診療の更なる発展に邁進して参ります。

新キャンパス整備計画概要

主要用途	教育施設(大学)
敷地面積	約36,800㎡
延べ面積	約36,800㎡
容積率	約100%
建物階数	地上3階建
最高高さ	約10m
着工(予定)	令和6年度
竣工(予定)	令和8年度

記載の内容は、今後の行政協議や詳細検討により変更となる場合があります。

- 2 **Special Feature**
令和9年度開校を目指して——
4学部・約2,000人が一堂に学べる
「鷺沼キャンパス」開設を計画
- 4 **Periscope キーパーソンに聞く**
「スマホによる読書」論文のダウンロード好調
臨床応用の可能性広げる研究続々
医学部生理学講座生体調節機能学部門
本間 元康 講師
- 6 **Press Release**
次世代技術Mixed Realityを用いた
看護基礎教育向けの新ツールを開発
より現実感のあるトレーニングが可能に
ラマン分光法を応用した食道・胃生組織の
がん病変の迅速かつ正確な評価技術を開発
生体のリアルタイム診断実現に期待
- 9 **News & Topics**
入学試験要項決定 赤松寮竣工式
リカレントカレッジ特別企画(夏) 旗ヶ岡盆踊り大会
教育者のためのワークショップ ほか
- 16 **Student Life**
寮祭2023～千紫万紅～を開催
- 20 **Database**
令和5年度科学研究費
助成事業採択課題一覧
医学部
- 24 **Meeting Report (学内会議報告)**
- 26 **Information**

「スマホによる読書」論文の ダウンロード好調 臨床応用の可能性広げる研究続々



紙に比べてスマホのほうが小説の読解力が低下するのは深い呼吸が 減るから——こんなユニークな研究結果をまとめた原著論文「Reading on a smartphone affects sigh generation, brain activity, and comprehension」(*Scientific Reports*, vol. 12, 1589, 2022)が関心を集めている。昨年1年間で66,000回以上 ダウンロードされ、勢いは現在も続いているという。筆頭著者である医学部生理学講座生体調節機能学部門の本間元康講師に、研究にまつわるエピソードや今後の展望について聞いた。

——今回の研究の着想に至った経緯、エピソードを教えてください。

本間 私は長年、心理学の分野でヒトの認知機能の研究に携わってきましたが、2019年に着任した当部門で盛んに行われていた呼吸の研究に着目し、「呼吸と認知」を新たなテーマとしてさらに研究の幅を広げようと思いました。読書と呼吸との関係については、すでにスマホなどの電子機器での読書は読解力を低下させることが報告されていましたが、原因までは解明されていませんでした。そこで、その原因を呼吸の観点から解明しようと思いました。実は、学生時代に同級生の女子が読書しながらよくため息をついていたという記憶も後押ししてくれたかもしれません。

——研究結果はとて興味深いものでした。

本間 34名の大学生(男性14名、女性20名、平均年齢20.8歳)を対象に、小説『ノルウェーの森』と『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』(いずれも村上春樹著)から抜粋したテキストを、一方をスマホで、もう一方を紙で読んでもらい、前頭前野の活動と呼吸パターンを測定し、読解力に及ぼす影響を検討しました。その結果、スマートフォンで読書をする、紙の場合と比べて、深い呼吸が減少し脳の過活動が生じるため、読解力が下がることが判明しました。スマホ画面のブルーライトが脳機能に影響して、強制的に注意機能が高まり、深い呼吸の発生を抑制していると考えられます。紙での読書は、ため息が脳の過活動を抑制し、認知機能に良い影響を与えているのではないかと推察しています。スマホなどの電子機器を長時間使

用する時は、ときどき意識的に深呼吸するということだと思います。

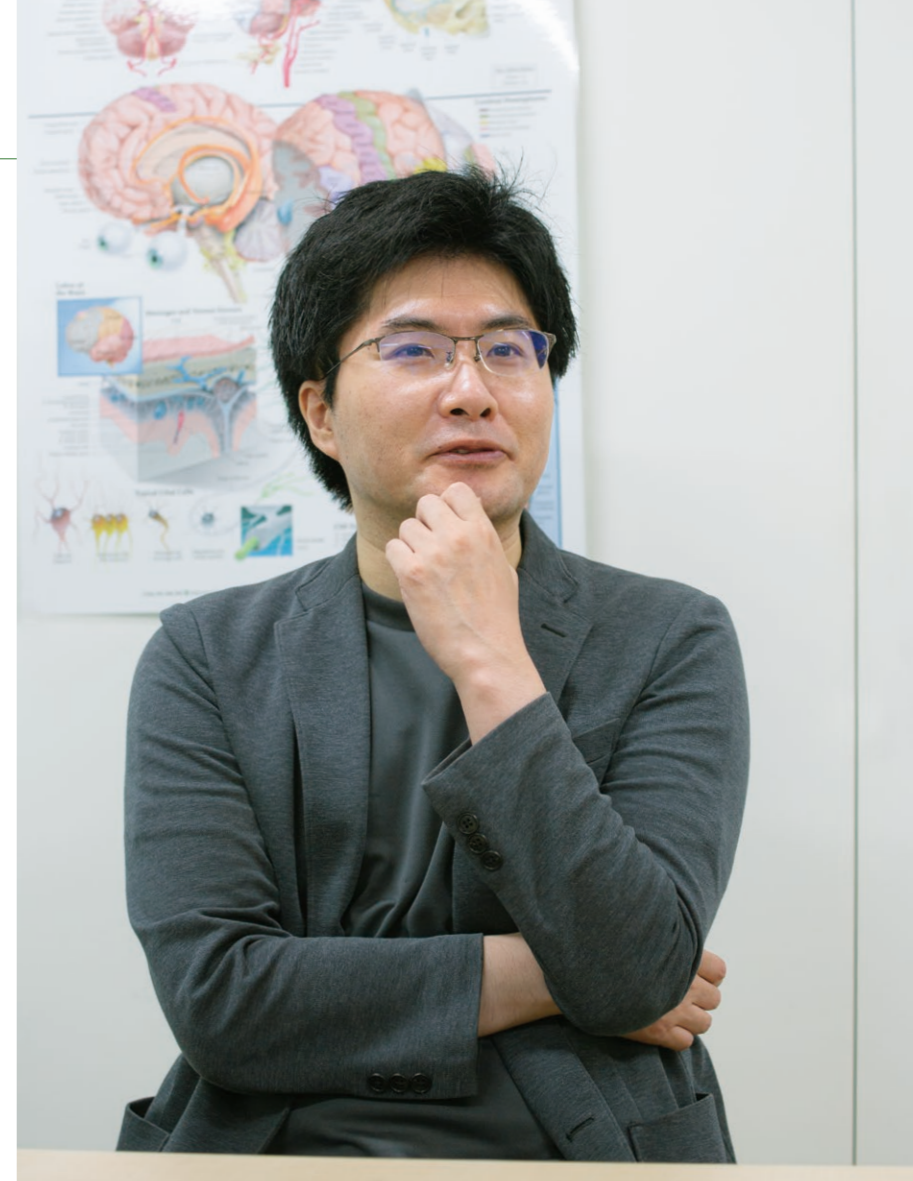
——ヒトでの基礎研究は珍しいと思いますが、苦労も多かったのでは。

本間 認知機能の実験は年齢や性差のほかさまざな因子が絡んできます。今回は、文字の大きさや文章量、触り心地など物理的外的要因や、読書経験やその日の体調など心理的内的要因が結果に影響する可能性がありました。そのため、特に物理的外的要因を可能な限り排除するために、数人を対象に予備実験を繰り返して、実験環境やデザインを固めていきました。結局、本実験よりも予備実験に時間や労力を費やすことになりました。——Scientific Reports誌に論文が掲載され、どのような反響がありましたか。

本間 1年間で66,304回のダウンロード数は、2022年に同誌に掲載された21,840論文中第7位にランクインしました。スマホをめぐるのは、スマホ頭痛やスマホ内斜視など、健康への影響が目立っており、多くのメディアから取材を受けました。国内では毎日新聞やFNNプライムオンラインなど、海外では*Psychology Today*や*PsyPost*(いずれも米国)などの専門メディアから*Daily Mail*(英国)などの大衆紙まで、世界中から注目されました。

——今後の研究の展望は。

本間 現在10テーマを超える研究を進めています。スマホによる読書の研究をさらに進めて、「ヒトの脳はデジタル環境に適應できるか」について検討したいと考えています。ほかに特に注力しているのが、「呼吸と視覚の同期」をテーマにした研究です。ゴム製の人工手が自分の手であるように錯覚するラバーハンドイルージョン現象を呼吸リズムと同期させる研究です(Kosuge, Honma



HONMA Motoyasu/2008年、立教大学大学院現代心理学研究科修了、博士(心理学)。国立精神・神経医療研究センター研究員、米国Northwestern University研究員を経て、2014年、昭和大学病院脳神経内科研究員、2017年、杏林大学医学部助教。2019年より現職。

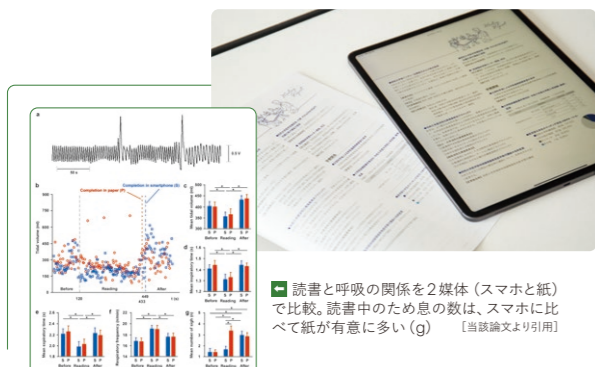
et al., *Scientific Reports*, 2023)。義手・義足に違和感がある人が、呼吸を絡めたラバーハンドイルージョンによって身体認知を再構成することで違和感が取り除けるかもしれません。「呼吸と認知」以外の研究としては、呼吸器外科の周術期における患者の心理を調べ、術前の不安傾向が強いと術後のQOLが下がりやすいことを突き止めました(Takamiya, Honma et al., *Frontiers in Psychology*, 2023)。この結果から、術前の不安傾向を抑えることで術後のQOLの改善が可能になると考えられます。これらはいずれも臨床応用の可能性を秘めた研究です。



1 研究内容について解説する本間講師 2 人工手が自分の手であるように錯覚するラバーハンドイルージョンの発生装置

ABSTRACT

デジタル機器は現代人の生活に欠かせないものであるが、人によっては頭痛や睡眠障害の原因となりえ、読解などの認知成績が低下するなど負の側面も報告されている。今回の研究では、“なぜデジタル機器を使用すると認知成績が低下するのか”を呼吸機能から検討した。結果として、スマホで読解をさせると紙での読解と比べて深い呼吸(ため息)が減少し、さらに読解力が低下した。これはデジタル機器使用における呼吸機能への作用を示唆する。デジタル機器を長時間にわたって使用する場合は、所々で深呼吸を入れた方が良いと提言した。



[取材・構成] 宇佐美 拓憲 [撮影] ダイヤモンド・グラフィック社



Press Release

昭和大では最新の研究成果を外部（マスメディア）に発信しています。
ここでは、プレスリリースとして発信した記事を紹介しします。

次世代技術Mixed Realityを用いた 看護基礎教育向けの新ツールを開発 より現実感のあるトレーニングが可能に



昭和大（東京都品川区、学長：久光正）は、株式会社ロケットスタジオ（北海道札幌市、代表取締役：竹部隆司、以下ロケットスタジオ）と協力し、次世代の技術であるMixed Reality (MR)^{*1}を用いた看護基礎教育を学ぶ新たな教育ツールを開発した。シミュレータを用いた看護基礎教育にホログラム技術^{*2}を融合することで、救命処置が必要な患者さんをより深く理解するための教育方略を体現できる。

■背景

医療の現場では、高度かつ先端的な治療を要する患者さんが増加している。教育機関では、さまざまな患者の状態を作り出すことができるシミュレータを用いた実践教育が多く行われているが、現実感を作り出すには限界があった。そこで、現実世界と仮想世界が複合された空間を他者と共有することができるMRの手法を用いることで新たな教育ツールを作り出せないかと考え、日本マイクロソフト株式会社（以下 マイクロソフト）の技術支援のもと開発に取り組んだ。

■新たな教育ツールの概要

今回の初期導入では、将来医療従事者となる学生たちが「人の生命を守る」ためトレーニングする一次救命処置の場面を想定したソフトウェアを開発した。Microsoft HoloLens 2（本体に内蔵されたセンサーで現実空間を認識し、3DCGを現実世界に立体的に重ね合わせて表示することができる光学シースルーを備えたヘッドマウントディスプレイ）で動作するソフトウェアである。

HoloLens 2を頭に装着してソフトウェアを起動した後、従来の物理的なシミュレータを眺めると、シミュレータのボディに沿って人型の3DCGがホログラムで浮かび上がる。3DCGは腕や脚を含む全身で表現されるため、シミュレータが上半身だけであったとしても、HoloLens 2を通すとあたかも全身が横たわっているように見える。

この画期的なソフトウェアは、ロケットスタジオにHoloLens 2用で動作するアプリケーション制作を依頼し、マイクロソフトとテクノロジーやシナリオに関するディスカッションを重ねながら開発を進めた。

■どのようにトレーニングするのか？

準備する機材は、HoloLens 2とシミュレータ（本学で使用し



1 2 3 Microsoft HoloLens 2で見えるシーン
4 実際のトレーニング風景

ているシミュレータは、胸骨圧迫スキルの客観的なフィードバックが得られるレールダルメディカルジャパン株式会社のレサシアンQCPRを使用している。

トレーニング者は、HoloLens 2を頭に装着すると、駅のプラットフォームで倒れている傷病者の姿を見ることができ、倒れている人を助けるために一次救命処置を行うというシナリオとなる。

まずは、倒れている傷病者の肩を叩いて意識を確認し、「大丈夫ですか」の掛け声で準備が整う。次に、「1、2、3...」の声でタイマーがスタートし、救護活動のトレーニングが始まる。救護活動中は、一定のリズムで心臓を圧迫することを促すため、1分間に100回の速度で電子音が再生される。また、AEDを持ってきた人に対して「AEDを使えますか？」と問かける声がトリガーとなり3DCGの上半身が裸になる。3DCGの胸の位置にシミュレータの胸がぴったりと重なっているためAEDの装着も従来のトレーニング通り行うことができる。一般的に、救急車が現場に到着するまでは8～9分かかるといわれている。そのため、このソフトウェアではトレーニング開始から9分経過した辺りから、救急車が遠くから近づいてくる音が聞こえるように設定されている。

このソフトウェアは、シミュレータのボディに傷病者の姿を重ねて表現するだけでなく、周囲も含めて実際の救護活動現場に近い状態を高い臨場感で再現する。例えば、傷病者の周囲に集まってきた人垣やプラットフォーム上の床、柱、ベンチなどが表現されており、それらの隙間から傷病者を目視することができる。また、駅のプラットフォームの向こう側には停車している電車の様子も見える。さらに、先の説明の通りトレーニング者の声を認識できる機能があるだけでなく、人垣から聞こえてくる声や雑踏もリアルに再

生される。

■今後の展望

今後、開発したツールの教育効果について検証していく予定。また、駅のプラットフォームで倒れている傷病者の一次救命処置だけでなく、院内を含めた様々なシーンを想定したトレーニングで使用するを検討している。

本件は、科研費JSPS19K19545の助成を受けた研究であり、2023年7月28・29日に開催予定の第55回日本医学教育学会大会一般演題に採択され発表された。

■昭和大 保健医療学部看護学科 大滝周 准教授コメント

昭和大では、1年次の富士吉田キャンパスにおいて、医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部（看護学科・リハビリテーション学科）の約600名の学生全員が、一次救命処置のトレーニングを行っています。私が所属する保健医療学部では、2年次以降も、胸骨圧迫スキルの客観的なフィードバックが得られるシミュレータを用いながら継続的にトレーニングを実施しています。

学生さんとの関わる中で、1年次より繰り返してトレーニングをしているにも関わらず、自信がもてないと感じている学生さんが多いことに気づきました。そこで、現実世界と仮想世界が複合された空間を他者と共有することができるMRの手法を用いることで、学生さんたちが感じている不安や負担感を軽減できるのではない

ラマン分光法を応用した食道・胃生組織の がん病変の迅速かつ正確な評価技術を開発 生体のリアルタイム診断実現に期待



昭和大（東京都品川区／学長：久光正）の伊藤寛晃准教授（先端がん治療研究所）を中心とした研究グループは、JSR株式会社、BaySpec Inc.、株式会社富士テクニカルリサーチ、埼玉県立がんセンターと共同で、ラマン分光法^{*1}を応用した食道・胃生組織のがん病変の迅速評価技術を開発した。本技術は、内視鏡検査や手術などにおける生体のリアルタイム診断を実現するための重要な基礎技術になりえると期待される。本研究成果は、2023年5月28日（米国東部時間）に国際学術誌『World Journal of Gastroenterology』のオンライン版に掲載された。

■研究の背景

がんは、正確な診断に基づく適切な治療により治療成績が向上する。食道がん、胃がん、大腸がんなど消化管のがんは内視鏡検査（胃カメラ、大腸カメラなど）で診断されるが、診断を確定するためには粘膜の一部を採取（組織生検^{*2}）して病理組織診断を行う必要があるため、内視鏡検査から確定診断までは約1週間から2週間程度の時間を要する。確定診断が得られた後、CT検査結果など内視鏡以外の検査を含めた総合的な診断によって最も適切と考えられる治療法が選択されるが、実際に内視鏡的治療や外科的治療（手術）などが行われる際は、治療施行医の臨床

かと考えました。

傷病者を発見し救命率を上げるには、質の高い胸骨圧迫を保つこと、そしていかに早い段階でAEDによる電氣的除細動を適切に行えるかが重要となります。わたしたちが日常生活を送っている中で、いつ、どこで、だれが倒れるかはわかりません。傷病者を発見したときに、自然に「命を救うための一歩」を踏み出せる一助になればと思い開発に取り組みました。

リリース時タイトル／昭和大とロケットスタジオがMixed Realityを用いた看護基礎教育向けの新たな教育ツールを開発

用語解説／

※1 Mixed Reality:現実世界と仮想世界を融合するテクノロジーのこと。MRと略して呼ばれることもある。ユーザー自らが創造の世界に没入することのできる仮想現実Virtual Reality (VR)とは異なり、MRは現実世界に仮想的なオブジェクトを重畳することができる。また、拡張現実と呼ばれるAugmented Reality (AR)とも異なり、MRは現実世界にあるものと仮想的に表現されたオブジェクトが様々な次元で相互作用する。詳しくは下記URLを参照のこと。https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows/mixed-reality/discover/mixed-reality

※2 ホログラム技術:光と音によって構成されたオブジェクトを表現する技術のこと。Microsoft HoloLens 2のようなデバイスで体験することができる。詳しくは下記URLを参照のこと。https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows/mixed-reality/discover/hologram

○Microsoft HoloLens 2 https://www.microsoft.com/ja-jp/hololens/

本件に関する問い合わせ先／昭和大 保健医療学部看護学科 准教授 大滝 周 E-mail: aotaki@nr.showa-u.ac.jp

本件リリース元／学校法人 昭和大 総務部 総務課 大学広報係 TEL : 03-3784-8059 E-mail: press@ofc.showa-u.ac.jp

的判断を加えながら適切な治療になるように調整する。そして、切除組織に対して再び病理組織診断を行うことで、治療が充分であったか（根治度）が判明する。この根治度によっては、再手術等の追加治療が必要となる場合がある。このように、がんの治療においては、検査から診断確定まで、さらに治療から根治度確定まで一定の時間を要する。

わたしたちは、先端技術を医療に応用し、形態学的評価に質的評価を取り入れることで、検査から確定診断までの時間を短縮し、また治療中のがんの病状をより正確に把握して過不足のない最適な治療を行うことができるのではないかと考えた。

■本研究の目的と方法

前述の通り、わたしたちの大きな目的は、迅速かつ正確に消化管のがんの病状を把握すること、そしてがんの病状に応じた過不足のない適正な治療を実現することだ。そのための技術の一つとして、ラマン分光法を選択した。

ラマン分光法とは、物質から反射する光には照射した光のほかにわずかに波長がずれた光（ラマン散乱光）が含まれる現象を利用した技術であり、ラマン散乱光の波形を詳しく調べることで物質に含まれる成分や分子構造を推定することができる。評価対象

は固体、液体、気体などのような状態でもよく、特別な前処理を必要としない。このような利点から、ラマン分光法は非破壊検査法として活用されているが、自家蛍光に大きな影響を受ける等の欠点があり、これまで生体への応用は困難だった。

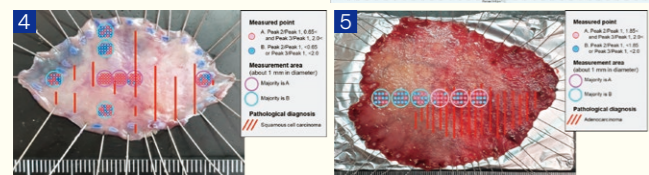
本研究では、自家蛍光の影響を受けづらく、かつ生体組織をいためないように設計した独自の顕微ラマン装置(図1)を使用して、内視鏡的治療により摘出された食道組織(食道扁平上皮がん^{※3}6病変)と胃組織(胃腺がん^{※4}10病変、胃腺腫1病変、胃間葉系腫瘍1病変)の計18組織を試料として、摘出後すぐにラマン散乱光波形(ラマンスペクトル)^{※5}を記録した。その後、通常行われる通りにホルマリンで組織を固定して病理組織診断を行った。



1 生体試料解析用に設計した独自の顕微ラマン装置

■研究成果

18組織すべてからラマン散乱光波形を記録することができた(図2、3)。そして、18組織すべてにおいて熱損傷等は発生せず、問題なく病理組織検査を行うことができた。ラマン散乱光波形と病理組織診断を比較すると、食道、胃それぞれのラマン散乱光波形パターンの特定の部位に適切な条件を設定することで、病理組織検査とほぼ同等の精度でがんの範囲を特定することができた(図4、5)。



2 食道がん組織のラマン散乱光波形 3 胃がん組織のラマン散乱光波形 4 食道がんの病変範囲とラマン散乱光の情報 5 胃がんの病変範囲とラマン散乱光の情報

■今後の展望

本研究では、人体から摘出されたばかりの組織におけるがんの

状態を迅速かつ正確に把握できる可能性を示すことができた。この成果は、身体の中にあるがんも評価できる可能性があることを示している。測定に使用している近赤外線レーザーは、焦点を調整することで表面だけでなく深部の評価も行うことができる。そして重要なことは、生体毒性が極めて低いためすでにがん以外の分野で医療応用され人体に使用されているということだ。レーザーを照射してラマン散乱光を検出する部分は、光ファイバーを使って内視鏡の鉗子孔を通る形状にすることができるので、理論上はすぐに人体に適用することが可能。本技術は、検査中に「リアルタイム診断」を行い、可能ならば同時に適切な治療を遂行する「がんのワンストップオペレーション」を実現するための重要な技術要素の一つと考えられる。今後は、評価対象を食道、胃以外の臓器に広げ、解析精度と生体毒性の有無を確認しながら研究を推進し、生体のリアルタイム診断技術の完成を目指す。

リリース時タイトル/昭和大学などの研究グループが、ラマン分光法を応用した消化管(食道、胃)生組織のがん病変の迅速評価技術を開発 -- 生体のリアルタイム診断実現に向け前進

用語解説/

- ※1 ラマン分光法：反射される光の波長を細かく調べることで物質の成分や構造を推定する非破壊検査法の一つ。
※2 組織生検：疾患の確定診断を得るために、組織の一部を採取して病理組織検査を行うこと。
※3 扁平上皮がん：食道がんの中で、日本で最も多い組織型。欧米では腺がんの割合が多い。
※4 腺がん：胃がんの中で、最も多い組織型。
※5 ラマン散乱光波形(ラマンスペクトル)：ラマン分光法で検出される散乱光の波形。横軸が波長のずれを表し、縦軸が散乱光の強さを表す。波形パターンを解析することで、物質に含まれる成分の量や構造を推定することができる。

掲載誌/World Journal of Gastroenterology

論文名/Determination of esophageal squamous cell carcinoma and gastric adenocarcinoma on raw tissue using Raman spectroscopy

著者/Hiroaki Ito, Naoyuki Uragami, Tomokazu Miyazaki, Yuto Shimamura, Haruo Ikeda, Yohei Nishikawa, Manabu Onimaru, Kai Matsuo, Masayuki Isozaki, William Yang, Kenji Issha, Satoshi Kimura, Machiko Kawamura, Noboru Yokoyama, Miki Kushima, Haruhiro Inoue

掲載日時/2023年5月28日(米国東部時間) オンライン版

DOI/10.3748/wjg.v29.i20.3145

研究内容に関する問い合わせ先/昭和大学 先端がん治療研究所 准教授 伊藤寛晃(いとう ひろあき) TEL: 03-3784-8145 E-mail: h.ito@med.showa-u.ac.jp

本件リリース元/学校法人 昭和大学 総務部 総務課 大学広報係 TEL: 03-3784-8059 E-mail: press@ofc.showa-u.ac.jp

創立100周年記念事業募金 ご支援のお願い

本学は令和10年(2028年)に創立100周年を迎えます。この大きな節目を迎えるにあたり、教育・研究・診療体制の充実や更なる発展のため、創立100周年記念事業を策定いたしました。

経済情勢の厳しい折ではありますが、本学における重要な役割を担う記念事業の実現へ向け、新時代への道のりを皆様と共に歩みたいと切に願っております。

皆様には本学の取組みに対して、ご理解・ご賛同いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ

総務部企画課 企画サポート係

メール:kikaku@ofc.showa-u.ac.jp

電話:03-3784-8387

FAX:03-3784-8012



News & Topics

2023.6.30

地上5階建ての新男子寮 富士吉田キャンパス「赤松寮」竣工式

6月30日、富士吉田キャンパスの新男子寮「赤松寮」の竣工式を挙行し、定礎除幕式、神事、内覧会が執り行われた。

この日、竣工した赤松寮は地上5階建てで、白樺寮、すみれ寮、百合寮と同様に、学生4人につき、学習用・寝室用にそれぞれ一部屋が配置され、共同スペースとして、学習スペースやラウンジ、浴室などがある。

浴室には昭和大学富士吉田温泉が引き込まれ、毎日、温泉を楽しむことができる。

「赤松寮」は、後期からの運用開始を予定している。



1 定礎除幕式 2 赤松寮の外観 3 学習スペース 4 ラウンジ

2023.7.3

大会を目前に控えた学生たちが健闘を誓う 夏季スポーツ大会壮行会

7月3日、第26回夏季スポーツ大会壮行会を昭和大学上條記念館で開催した。

壮行会に先立ち講演会が行われ、古屋貫治講師(スポーツ運動科学研究所)が「選手だけとは限らない! スポーツに関わる人の熱中症」と題し、競技する選手だけでなく、観戦している友人や家族も含めて、熱中症対策が必須であることを解説した。

続いて、田村将希講師(同)が「外傷時の救急対応」のタイトルで、競技には付き物である外傷について、応急処置方法を説明するとともに予防も大事であることを分かりやすく説明した。

壮行会では、久光正学長の告辞、小風暁医学部長の挨拶に続き、サッカー部の代表者が選手宣誓をし、健闘を誓った。閉会に際し、グリークラブ・昭和大学メモリアル合唱団が校歌と応援歌



1 講演会~会場の様子~ 2 壮行会~校歌・応援歌斉唱~ 3 壮行会~応援指導部~

を斉唱し、応援指導部からエールが送られた。

各大会を目前に控えた学生たちは、それぞれが全力を出し切ることを誓い合った。

2023.7.28

4年ぶりの開催で大勢の人で賑わう 旗ヶ岡盆踊り大会

7月28日、新型コロナウイルス感染症の影響により中止が続いていた旗ヶ岡盆踊り大会を4年ぶりに旗の台キャンパス中庭で開催した。

旗ヶ岡盆踊り大会は昭和63年に第1回が開催され、それ以来近隣地域の方々と共に盛り上げてきた。今年は、かき氷や焼きそば、ポップコーン、金魚すくい、ヨーヨー釣りなど多くの屋台が出店され、大勢の人で賑わった。

楽しそうな踊り手の姿と太鼓の打ち手の気合の入った競演に、開催の喜びが溢れていた。

1 鏡開きの様子 2 太鼓競演の様子(むさし在来太鼓) 3 会場の様子



試験場変更・特待制度拡充のほか寮生活費減額も 令和6年度入学試験要項公開

令和6年度昭和大学入学試験要項を公開し、総合型選抜入試の出願がスタートした。

前年度からの変更点は、医学部一般選抜入試（Ⅰ期）・（Ⅱ期）一次試験、および歯学部・薬学部・保健医療学部一般選抜入試（Ⅰ期）の入試区分において、試験場がパシフィコ横浜ノース（横浜）・AP大阪茶屋町（大阪）・南近代ビル（福岡）とそれぞれ変更になる。

また、前年度に引き続き、近年の感染症の蔓延による学校への登校制限、クラブ活動の自粛、各種資格検定試験の中止および延期等により受験生の行動が制限されたため、総合型選抜入試を除く入学試験においては、出願書類の点数化は行わない。

保健医療学部では、今年度より改組したリハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻）において、入学者のうち総合型選抜入試および学校推薦型選抜入試合格者については、初年度授業料免除の特待制度の対象とする（前年度継続）。

さらに、令和6年度入学者より1年次の富士吉田キャンパス寮生活費を減額する。

〈令和6年度入試のポイント・変更点〉

1. 一般選抜入試 試験場変更
2. 出願書類の点数化なし（総合型選抜入試を除く）※前年度継続
3. 保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻の特待制度の対象者拡充 ※前年度継続
4. 1年次寮生活費減額

※詳細は昭和大学受験生サイトをご確認ください



令和6年度 入学試験日程

医学部

入試区分	募集人員	出願期間（郵送必着）	試験日	発表
学校推薦型選抜入試 ※特別協定校のみ	2	令和5年11月1日(木)～10日(金)	令和5年11月25日(土)	令和5年12月1日(金) 15:00
卒業生推薦入試	7			
一般選抜入試（Ⅰ期）	83	令和5年12月6日(木)～令和6年1月10日(木)	一次：令和6年2月2日(金) 二次：令和6年2月10日(土)・11日(日)	一次：令和6年2月7日(木) 12:00（正午） 二次：令和6年2月13日(火) 12:00（正午）
一般選抜入試（Ⅱ期）	18	令和6年2月1日(木)～14日(木)	一次：令和6年3月2日(土) 二次：令和6年3月9日(土)	一次：令和6年3月6日(日) 12:00（正午） 二次：令和6年3月11日(月) 12:00（正午）

歯学部 薬学部 保健医療学部

入試区分	募集人員	出願期間（郵送必着）	試験日	発表
総合型選抜入試	歯 10 薬 20 看 7 リハ(理) 8 リハ(作) 8	令和5年9月1日(金)～15日(金)	一次(歯)：書類審査のみ 一次(薬・保)：令和5年10月8日(日) 二次：令和5年10月28日(土)	一次：令和5年10月12日(木) 15:00 二次：令和5年11月1日(木) 15:00
学校推薦型選抜入試 ※歯・薬：指定校・特別協定校含む ※看・リハ(理・作)：特別協定校含む	歯 27 薬 46 看 37 リハ(理) 9 リハ(作) 6			
卒業生推薦入試	歯 7 薬 10 看 3 リハ(理) 1 リハ(作) 1	令和5年11月1日(木)～10日(金)	令和5年11月25日(土)	令和5年12月1日(金) 15:00
編入学試験（歯学部2年次編入、看護学科3年次編入）	歯 若干名 看 10			
一般選抜入試（Ⅰ期） リハビリテーション学科 理学療法学専攻一般選抜入試（Ⅰ期）利用の作業療法学専攻 第二希望併願入試	【Ⅰ期】 歯 42 薬 95 看 38 リハ(理) 13 リハ(作) 8 【併願】 リハ(作) 若干名	令和5年12月6日(木)～令和6年1月16日(木)	令和6年2月1日(木)	令和6年2月7日(木) 15:00
医学部一般選抜入試（Ⅰ期） 利用の薬学部併願入試	4	令和5年12月6日(木)～令和6年1月10日(木)	一次：令和6年2月2日(金) 二次：令和6年2月10日(土)・11日(日)	一次：令和6年2月7日(木) 12:00（正午） 二次：令和6年2月13日(火) 12:00（正午）
一般選抜入試（Ⅱ期） リハビリテーション学科 理学療法学専攻一般選抜入試（Ⅱ期）利用の作業療法学専攻 第二希望併願入試	【Ⅱ期】 歯 5 薬 20 看 3 リハ(理) 2 リハ(作) 1 【併願】 リハ(作) 若干名	令和6年2月1日(木)～14日(木)	令和6年3月3日(日)	令和6年3月5日(火) 15:00
大学入学共通テスト 利用入試	歯 5 薬 5 看 7 リハ(理) 2 リハ(作) 1	令和5年12月6日(木)～令和6年1月16日(木)	大学入学共通テスト： 令和6年1月13日(土)・14日(日) 面接：令和6年2月1日(木)	令和6年2月7日(木) 15:00

ウクライナ出身の歌姫によるコンサートも開催 リカレントカレッジ特別企画（夏）

7月23日、昭和大学リカレントカレッジ特別企画（夏）講演会・コンサート「ここから広がる支援の輪」を昭和大学上條記念館において開催した。会場に300名以上の方の来場があり、大盛況の会となった。

はじめに、昭和大学リカレントカレッジ小川良雄プリンシパルより開催の経緯など含めて開式の挨拶があった。

第一部では、昭和大学大学院保健医療学研究科 副島賢和准教授が「自分も相手も大切にすかかわり～院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと～」という演題で、昭和大学附属院内学級担当としての自身の経験をもとに、病気による傷つきを抱えた子どもたちのかかわり方について講演した。

第二部では、ウクライナ出身で歌手・バンドウーラ奏者のナターシャ・グジーさんによるコンサートを開催した。ご自身の生い立ちや故郷・ウクライナへの思い、チャリティー活動などについて語り



ながら、アンコールを含む全7曲を披露した。

最後に、ウクライナ出身の留学生で、昭和大学横浜市北部病院消化器センターにて研修中のオレーナ・コチュベイ・セルヒーヴナさんから、感謝を込めて花束贈呈が行われたのち、久光正学長から挨拶があり、閉会となった。

会場では、ナターシャさんのCDの販売やウクライナ支援のためのチャリティーグッズの販売も行われた。今回の公演チケット代金ならびに本企画で収納された寄付金、募金の総額約100万円を在日ウクライナ大使館に寄付する予定。

新カリキュラム構築や運用の喫緊の課題も論議 教育者のためのワークショップ

8月1日～2日、8月20日～8月22日に「教育者のためのワークショップ」をセミナーハウスクロス・ウェーブ府中で開催した。

このワークショップは、教育の質の向上、教育職員の教育能力向上を目的とし、8月1日～2日の2日間はアドバンスコース（上級者向け）が行われ、8月20日～8月22日の3日間はビギナーズコース（初心者向け）が行われた。

ビギナーズ、アドバンスコースともに「未来につなげる事業計画」と題し、小口勝司理事長から昭和大学の中長期計画や大学の組織運営についての講演があった。ビギナーズコースでは伴信太郎客員教授（愛知医科大学医学教育センター特命教育教授）に「教育の楽しみ・よろこび」をテーマにご講演をいただいた。

猛暑にも負けない非常に熱いディスカッションが展開され、参



加者同士の意見交換を通して、チーム医療に重要な学部連携、多職種による交流も果たせた。

日本調剤

全国に広がる、日本調剤のネットワーク。

日本調剤株式会社（本社：東京都千代田区丸の内、東証プライム市場上場）は、全国47都道府県で700以上の調剤薬局を展開している企業です。

お気軽にご相談を!!

- ◆ 万が一のための保障準備
- ◆ 住宅ローン・資産運用 など

お問い合わせ・ご予約は
三井住友銀行 旗ノ台支店
東京都品川区旗の台1-4-15
TEL. 03-3785-3012

ディスカッションを重ね実り多き時間に 医学部附属看護専門学校ワークショップ

8月5日、第11回医学部附属看護専門学校ワークショップを、看護専門学校にて開催した。

「ディプロマポリシー達成のために教育課程の編成を考える」をテーマに、OBE(アウトカム基盤型教育)の考え方とディプロマポリシーの整合性について議論を深め実りあるプロダクトが作成された。



1 小口理事長講演
2 ディスカッションの様子
3 小口理事長講演

体験コーナーでは驚きの声が続々と 電子顕微鏡室主催 「子供のサマースクール」

8月12日、昭和大学電子顕微鏡室主催の「子供のサマースクール」を旗の台校舎で開催した。

当日は、日本電子株式会社のご協力のもと「のぞいてみようミクロの世界」と題し、顕微鏡の構造や種類、いろいろな花粉の紹介など、クイズを交えて楽しく解説した。

このほか、立体写真(三次元:3D)を赤と青の3Dメガネで見ると物が浮き上がって見える体験コーナーや持参した物を顕微鏡で見ているコーナー、標本観察コーナーも用意し、参加した子供たちからは驚きの声が上がっていた。

昭和大学病院小児科病棟の子どもたちもリモートで参加し、画



1 体験コーナー:実際に見てみよう! 2 子供のサマースクール 3 虫の標本をスケッチする参加者

面で拡大された虫の足や自分の髪の毛、星の砂などを観察した。別会場では「大人のサマースクール」を同時開催し、株式会社日立ハイテクのご協力のもと、電子顕微鏡の説明や観察例の紹介、実機を使った器官・臓器の観察を行った。

8件の業績を認定 附属病院看護業績賞表彰式

8月17日、令和4年度附属病院看護業績賞表彰式を旗の台キャンパスで執り行った。

本賞は業績、人物、ともに優秀と認められた看護職員に授与される。

令和4年度は8件の業績(業務・研究)が認められ、小口勝司理事長より賞状、小出良平総括病院担当理事・小川良雄総務担当理事から記念品が手渡された。

受賞内容は以下のとおり。(所属・役職は選考当時のもの)

【業務業績】

- 所属名 昭和大学病院 受賞団体名 感染対策チーム
受賞内容 COVID-19感染症の院内感染拡大防止活動について
- 所属名 昭和大学病院 受賞者 係長・臨床教員/専門看護師 井出 由美
受賞内容 小児看護における未熟児の胃管管理について
- 所属名 昭和大学藤が丘病院 受賞者 係長/認定看護師 冨田 和也
受賞内容 特定行為の実践による医師とのタスクシフト・タスクシェアについて
- 所属名 昭和大学横浜市北部病院 受賞者 師長/認定看護師 福岡 絵美
受賞内容 感染管理における手術部位感染予防策の強化について



1 表彰状授与 2 記念品授与 3 記念撮影

- 所属名 昭和大学横浜市北部病院 受賞者 師長/認定看護師 鈴木 千恵子
受賞内容 救急看護における早期警告スコアの導入について
- 所属名 昭和大学横浜市北部病院 受賞者 次長/専門看護師 佐々木 舞子
受賞内容 高齢者排泄ケアに関するOJTの強化について

【研究業績】

- 所属名 昭和大学病院 受賞者 係長・臨床教員/専門看護師 井出 由美
受賞内容 他院で出生したハイリスク新生児と家族を支援する体制構築に関する研究
- 所属名 昭和大学病院 受賞者 主査 渡辺 優子
受賞内容 他院で出生したハイリスク新生児の家族に対する支援体制の構築に関する実践報告

認定看護管理者教育課程の 総仕上げとなるサードレベル開講式

8月18日、2023年度認定看護管理者教育課程サードレベルの開講式を開催した。

例年同様オンラインで開催し、受講者34名が出席した。小川良雄リカレントカレッジプリンシパルの告辞、来賓祝辞の後、受講者一人ひとりの紹介があった。受講者代表による挨拶では、「超高齢社会に伴い医療看護技術が目まぐるしく変化する中、限られた資源の中で、効果的に医療サービスを提供できるかが大きな課題です。管理者としての専門的知識・技能を習得し、仲間と共に高め合い、仕事と両立しながら学業に邁進します」と決意を新たにした。



1 告辞:小川良雄プリンシパル
2 記念撮影 3 挨拶:増田千鶴子統括看護部長

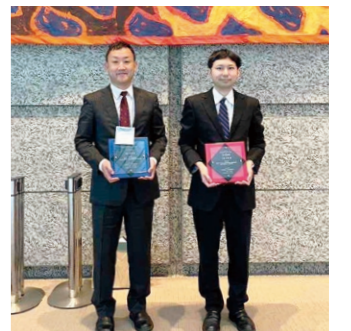
最後に増田千鶴子センター長から、ここでの学びを通して看護管理者としてさらにステップアップしていけるようにとエールが送られた。

日本最大規模の医学会でダブル受賞 日本抗加齢医学会研究奨励賞・ 若手研究者賞

第23回日本抗加齢医学会総会(6月9日~11日、東京国際フォーラム)において、寺崎道重講師(医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科学部門)が日本抗加齢医学会研究奨励賞、八島広典助教(同)が日本抗加齢医学会若手研究者賞をそれぞれ受賞した。

同学会は、高齢社会のなか、人々の健康寿命を延伸させることを目的に設立された、異分野の専門家や多職種の会員9,000名以上からなる我が国でも最大規模の医学会の一つ。

左から寺崎道重講師、八島広典助教



寺崎講師は演題名「動脈硬化症に対する新規治療戦略:終末糖化産物を標的とした機能性核酸医薬の有効性の検討」、八島助教は演題名「動物性タンパク質による糖尿病性腎症の増悪機構解明と機能性核酸医薬による治療法開発」の発表が高く評価され、同賞に選定された。

日本循環器学会関東甲信越地方会 Student Award優秀賞

演題名 「心室性不整脈の発生基質としての膜性中隔の心筋分布の多様性に関する検討」
受賞者 中村恵里さん(医学部6年)
日程・場所 2023年6月17日・ステーションコンファレンス東京



左から松山高明教授(医学部法医学講座)、中村恵里さん、新家俊郎教授(医学部内科学講座循環器内科学部門)

世界消化器内視鏡学会の 国際的優良施設に認定

名称 Center of Excellence
概要 世界各国に設置された内視鏡部門の中から、内視鏡診断・治療のクオリティに加え、専門知識豊富なスタッフ、国際的な消化器内視鏡教育への貢献度などにおいて優れた施設に認定

認定施設 昭和大学横浜市北部病院



工藤進英センター長と認定証の盾

ハンナ型間質性膀胱炎に新たな漢方薬治療の可能性を提示 日本東洋医学会学術総会で受賞

塚田愛講師（統括研究推進センター）が、第73回日本東洋医学会学術総会（6月16日～19日、福岡国際会議場）で奨励賞（神農杯）総会部門を受賞した。

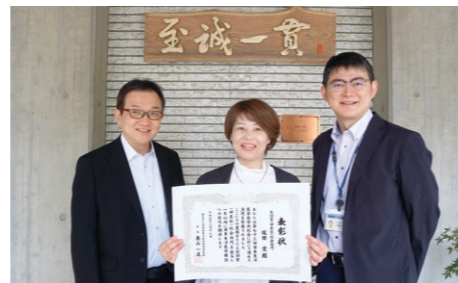
塚田講師は「Substance P分泌抑制を介したハンナ型間質性膀胱炎モデルラットに対する抑肝散の鎮痛効果の検討」の演題で発表し、ハンナ型間質性膀胱炎に対する新たな漢方薬治療の可能性を示したことが高く評価され、同賞に選定された。

【塚田愛講師のコメント】

この度は、このような名誉ある賞を頂戴し、大変光栄に存じます。泌尿器疾患の中でも難病指定されているハンナ型間質性膀胱炎の痛み症状に対する漢方薬・抑肝散の有用性を基礎研究から検討し、Substance P分泌抑制を介した鎮痛作用を有することを報告させていただきました。

日頃より、臨床の先生方と共に漢方薬を用いた基礎研究に従事しておりますが、西洋医学では賄えきれない点を東洋医学的アプローチが功を奏するという症例が少なくありません。今回の報告が

ハンナ型間質性膀胱炎で苦しんでいる方々への有益な提案になりましたら幸いです。本研究は、井上達貴先生（医学部泌尿器科学講座）、角川義樹先生（同）とともに立案・遂行した研究であり、この場をお借りして、貴重な経験をさせていただきました先生方に深く御礼申し上げます。また、日頃より漢方医学のご指導をいただいている砂川正隆教授（医学部生理学講座生体制御学部門）、研究活動を全面的にサポートいただいている三邊武彦統括研究推進センター長に心より感謝申し上げます。



左から砂川正隆教授（医学部生理学講座生体制御学部門）、塚田愛講師（統括研究推進センター）、三邊武彦統括研究推進センター長

特別協定校の生徒・保護者を対象に 富士吉田キャンパスで施設見学会を実施

8月10日、本学の特別協定校である昭和女子大学附属昭和高等学校の生徒と保護者を対象に、富士吉田キャンパスの施設見学会を実施した。

この施設見学会は本学への進学に興味のある方に1年次全寮制教育への理解を深めていただくことを目的として開催された。

当日、都内は真夏日だったが、富士吉田市内は26度前後と清涼とした気候の中、学生寮見学や体験実習などが行われた。

参加した生徒のみなさんは実際に寮で生活する場面を想像しながら見学し、職員に沢山の質問を寄せていた。

体験実習では、血圧測定や気道異物除去、骨の模型を使った

1 記念撮影 2 体験実習：血圧測定 3 体験実習：気道異物除去 4 昼食体験



骨学実習など、専門的な実習に緊張の面持ちで真剣に取り組んでいた。

今後も両校は様々な相互交流を通じて、高大連携を強めていく。

富士吉田の夏の終わりを告げる風物詩 日本三大奇祭「吉田の火祭り」に大松明を奉納

8月26日、日本三奇祭の一つ「吉田の火祭り」が山梨県富士吉田市で開催され、今年も昭和大学富士吉田校舎として大松明を奉納した。

この祭りは高さ3メートルの筒形に結び上げられた大松明に火を灯して富士山の噴火を鎮める鎮火祭として知られており、富士吉田市の夏の終わりを告げる風物詩となっている。今年も多数の参加者が祭礼を楽しむ様子が見られた。

北口本富富士浅間神社近くの道沿いに110本以上の大松明が立ち並び、小口勝司理事長、倉田知光富士吉田教育部長ら大学関係者が出席し、昭和大学富士吉田校舎の名が入った大松明に火を灯した。



1 本学の松明 2 大松明に火を灯す小口勝司理事長 3 小口勝司理事長（中央右）と大学関係者ら

約120人の子どもたちが興味津々な表情 城南信用金庫主催 「夏休みこどもフェス2023」に参加

8月20日、城南信用金庫本店（東京都品川区）で小中学生を対象として開催された「夏休みこどもフェス2023」に、昭和大学は職業体験ブースを設置して参加した。

このイベントは、子どもたちに夏休みの思い出を作ってもらおうと城南信用金庫が主催したもので、昭和大学は医療クイズや薬包体験、白衣の試着体験の企画を行った。そのほか、警察庁による白バイ試乗体験や新聞社による記者会見体験など、様々な企画が行われた。

本学のブースには約120人の子どもたちが訪れ、興味津々な様子がみられた。

1 白衣の試着体験 2 3 医療クイズ 4 薬包体験



本学と城南信用金庫は、2014年に産学金連携プログラム協定を締結して以来、研究活動や地域活動への協力など様々なかたちで連携していく。

看護基礎教育の向上を目的に67名が受講 保健師・助産師・看護師 実習指導者講習会開講式

8月23日、昭和大学横浜キャンパスにて神奈川県保健師助産師看護師実習指導者講習会・昭和大学保健師助産師看護師実習指導者講習会の合同開講式を執り行った。

本講習会は効果的で質の高い実習指導を行える指導者を養成し、看護基礎教育の質の向上を図ることを目的としている。

鈴木久義昭和大学保健医療学部長の開講挨拶の後、田中晶子保健医療学看護学部主任は挨拶で世阿弥の言葉を引用し「『現在の自分の位置を初心と見なさない限り向上はない。いつも現在を初心と見なす態度が必要である』という意味で“初心忘るべからず”という言葉が使われています。本日新たな学びのチャンス



開講式会場の様子

を得られた皆さま、この機会を“初心”と捉えて、有意義な時間を過ごしていただけたらと思います」と述べた。

荒川千春学校法人昭和大学統括看護部長の来賓挨拶後、受講生67名一人ひとりの名前が紹介され、閉式となった。

今後は、8月から12月まで週2回（月・火）、講義・演習・実習等が行われる予定。

都内20施設の薬剤部門での調剤エラーを研究・分析 日本医薬品安全性学会学術大会で受賞

百賢二准教授（薬学部病院薬剤学講座）が第9回日本医薬品安全性学会学術大会（7月16日～17日：明治薬科大学）で優秀演題賞を受賞した。

百准教授は「病院薬剤部門における調剤エラーの発生率およびその影響因子の探索に関する多施設共同前向き観察研究」の演題で発表し、東京都内20施設の薬剤部門における調剤エラーの発生率を前向きに収集し、その割合が0.87%となることを明らかにした点が高く評価され、同賞に選定された。

1 百賢二准教授 2 第9回日本医薬品安全性学会学術大会優秀演題賞



論文情報 / Momo K et al. A Survey of Near-Miss Dispensing Errors in Hospital Pharmacies in Japan: DEPP-J Study –Multi-Center Prospective Observational Study-. *Biol Pharm Bull.* 2022;45(10):1489-1494.

DOI / 10.1248/bpb.b22-00355

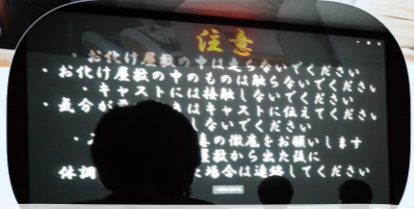
URL / <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/36184507/>

寮祭2023 ～千紫万紅～ を開催

6月24日(土)・25日(日)の2日間、富士吉田キャンパスで体育祭・寮祭を開催した。今年度の寮祭メインスローガンは「千紫万紅」。体育祭やバンド演奏、イベント、模擬店などに積極的に参加して、一人ひとりがそれぞれの花を咲かせる機会にしてほしい、そして富士吉田キャンパス内を多種多様な花が咲き誇る景色にしてほしいという実行委員の願いが込められている。学生たちは、入学して2か月半という短い間に様々な催し物を企画し、力を合わせて準備を進め、迎えた本番を思う存分に楽しんでた。

初日の24日(土)には体育祭が行われ、指導担任制グループ(コンパ)ごとに6色に分かれ、午前は棒&綱奪い、借り人競争が行われた。そして、昼食・休憩をはさみ、午後はスクエアガーデンでのライブで再開し、寮対抗リレー、ムカデリレー、二人三脚、色対抗リレーなど白熱した戦いが繰り広げられた。

2日目の25日(日)には、感染対策を徹底した上で、お化け屋敷、模擬店、バンド演奏やダンスなど、学生たち手作りのイベントが盛りだくさんに行われた。そして最後には、キャンプファイヤーと色とりどりの打ち上げ花火で締めくくられた。



実行委員長・各部門長からの寄稿



実行委員長
医学部 口出直汰

【充実感と幸福感を得た寮祭】

寮祭実行委員長を務めた経験は、私にとって非常に充実したものでした。この寮祭でいろいろなことを経験し、多くのことを学びました。それと同時に、楽しい思い出となりました。

最も楽しかったことは、ライブのMCです。僕は、中央委員長の杉本寛児君と後夜祭と後夜祭のMCをしました。そこでは、ステージの上から寮祭を楽しんでくれている同級生を見ることができ、準備できてよかったなど心の底から思うことができました。MCはグタグタでしたが、みんなが楽しんでくれてよかったです。また、閉会式の最後にみんなから名前を呼んでもらえたことがとても印象に残っています。寮祭が成功したことで、多くの寮生が楽しい時間を過ごすことができ、充実感と幸福感を感じました。

寮祭は学生が主体ですが、たくさんの先生方、事務課の方々、ボイラーさん、食堂の方などのご協力なくして成功させることはできませんでした。さまざまなサポートをしていただき、本当にありがとうございました。



体育祭 部門長
薬学部 稲垣諒汰

【一から作り上げた寮祭】

準備が始まってからの2ヶ月間はとても早く感じました。スケジュールの調整や企画の考案、物品の準備、予算の使い道などたくさんの仕事がありとても大変でした。当日は天候にも恵まれ想像以上に盛り上がる事ができました。自分たちで一から作り上げるのは大変な部分も多くありますがその分達成感も非常に大きいです。

部門員をはじめとする学生の皆さん、諸先生方本当にありがとうございました。



ライブ 部門長
保健医療学部 富永桜

【想像していたより何倍も大変だった寮祭】

部門長は自分が想像していたより何倍も大変でした。今年度から新しくできた部門ということもあり、不安も多かったですが、副部門長や先生方の助けがあり、なんとかステージ企画を成功させることができ、本当に嬉しかったです。

マスクを着用した上で声を出して出演者やMCの人たちのおかげで、会場の雰囲気はものすごく良かったです。「ライブ楽しかったよ!」「お疲れ様!」と声をかけてくれる人が沢山いて、頑張ってたかなと思いました。



イベント 部門長
薬学部 久保田桜空



【優しさを知ることができた祭祭】

過去の資料や前例のない企画を開催することに不安を感じておりましたが、出演者や部門員の多大なる協力によって、企画を成功させることができました。会場の皆さんの楽しんでいる様子を見ることができ、本当に良かったです。

最後に祭祭に関わってくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。拙い部門長でたくさんのご迷惑をおかけしたと思いますが、私にとってこの祭祭は皆さんの優しさを知ることができた時間です。本当にありがとうございました。



模擬店 部門長
医学部 伊藤正人



【楽しい思い出を作ってもらいたい】

模擬店部門長を務めました、伊藤正人です。まずはじめに、祭祭実行委員会を含め祭祭の運営に関わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。私たちは高校時代にコロナウイルスの影響を一番大きく受けた代なので、模擬店を出すという経験をしてこなかった人も多かったと思います。そんな学生達に少しでも楽しい思い出を作ってもらいたいという思いで部門長を務めました。模擬店を出していた当時の状況を知ることができなかったのも、1から手探りで進めなければならず成功するかとても不安でした。しかし、結果的に大成功で終わることができたと思います。そしてそれは、祭祭に関わる全ての人が一丸となった結果だと思っています。本当にありがとうございました。

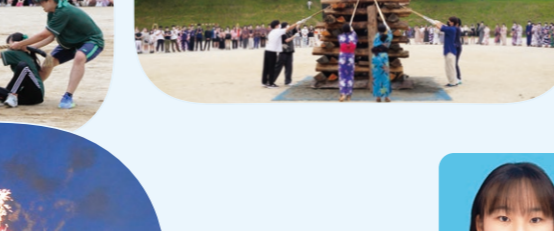


キャンプファイヤー・花火 部門長
薬学部 小川桃子



【みんなで作り上げた祭祭】

部門長に任命されたときは素直にとっても嬉しかったです。初めは何から始めればいいのか、いつまでに何を終わらせなければいけないのかと不安なことがたくさんありました。ですが、部門員のみならず祭祭に向けて準備を重ねていくうちに互いの仲も深まり、少しずつ準備にも楽しさを感じることができました。キャンプファイヤーは、予め練習していたジャンボリミッキーのダンスをみんなが楽しんで踊ってくれていたのも嬉しかったです。当日は事務課の方々や先生方にも支えられながら大成功で終わることができたので祭祭生活の最高の思い出になりました。



装飾展示 部門長
薬学部 松本一真



【思い出の一役】

今年の装飾展示部門では校内装飾とお化け屋敷を行いました。

お化け屋敷に関しては楽しんでくれた方が多かった印象です。私もオバケ役や裏方として参加しました。

怖くて立ち止まってしまう人や笑いながらどんどん進んでいってしまう人。十人十色な反応はまさしく祭祭のテーマ千紫万紅を体現していたのではないのでしょうか？

生協2階では花紙を使ったフォトスポットと多くの人に協力してもらい完成させたちぎり絵の展示をしました。

その他スクエアガーデンでの垂れ幕や立て看板、食堂窓の装飾など各所に工夫を凝らした装飾をしました。少しでも祭祭の思い出の一役を担えていればと思います。

最後に、部門員や有志の方々の協力がなければ形ならなかったものが多くありました。本当にありがとうございました。



デジタル 部門長
薬学部 土岐純花



【富士吉田での初めての行事】

デジタル部門ではパンフレットやポスターの作成、SNSでの情報発信で祭祭前から盛り上げるとともに祭祭期間中の様子をエンディングムービーとしてまとめ、盛り上がった祭祭に幕を閉じることができました。大変な作業も多く時間も少ない中でしたがデジタル部門として祭祭を盛り上げることができたのは部門員や多くの方に協力してもらえたからだと思います。富士吉田生活での初めての行事として多くの方が楽しむことのできた祭祭になったと思います。多くの場面で関わってくださった皆さん、ありがとうございました。



物品管理 部門長
医学部 橋本寛度



【全ての部門と連携】

物品管理というと、裏方であまり表に成果が出ないというイメージがあるかと思いますが。しかし実際は祭祭を盛り上げた主役ではないかと思っています。私たち物品管理部門は全ての部門と連携を深く取りながら各部門がやりたいことを叶えるよう支えていきました。

一方、私個人で見ると仕事が後手に回ることも多々ありました。そんな時事務課の方々や実行委員の人そして物品管理部門員などの協力で仕事をこなすことができました。

この祭祭で最高の仲間と出会い、物品管理部門の部門長となれたことに感謝いたします。



令和5年度

科学研究費助成事業採択課題一覧

令和5年度の科学研究費助成事業の交付は全体で325件が採択され、総計で3億7,763万円が交付される。

各所属の採択件数・交付額は以下の通り。

■ 医学部：136件 1億7,025万円	■ 歯学部：89件 9,490万円	■ 薬学部：40件 4,694万円
■ 保健医療学部：32件 2,740万円	■ 富士吉田教育部：4件 250万円	■ 研究所等：24件 3,563万円

今号では、医学部の一覧を掲載する。

※所属・役職は令和5年5月交付時点

医学部

研究種目	所属/部門	職名	研究者名	内定額(円)	研究課題名
学術変革領域研究(A)	生化学	講師	森戸 大介	20,000,000	タンパク質寿命の変容と血管狭窄
		准教授	宮崎 拓郎	3,400,000	代謝臓器の質を司るmRNA成熟因子の作動原理解明と臨床的基盤の構築
	生化学	講師	原口 省吾	3,500,000	加齢に伴う皮膚局所内分泌系の変容により引き起こされる加齢性皮膚疾患の分子機序解明
講師		森戸 大介	5,200,000	脂質ユビキチン化の生物学	
基盤研究(B)	医学教育学	准教授	土屋 静馬	7,100,000	医師患者間・医療面接教育AIバーチャル模擬患者の開発と医学生の学修効果の検証
	内科学/消化器内科学部門	兼任講師	森 悠一	1,800,000	がん検診へのAI介入により、大腸癌は予防できるか - 大規模ランダム化試験
	救急・災害医学	教授	土肥 謙二	3,200,000	神経ペプチドPACAPの熱中症による全身および神経炎症抑制機構の解明
		准教授	宮本 和幸	4,100,000	熱中症・敗血症(全身性炎症)における急性期～中長期の神経・液性シグナル連関の解明
	解剖学/顕微解剖学部門	教授	本田 一穂	1,200,000	分子標的薬による腎糸球体傷害の3次元電顕解析とオルガネラ診断への応用
		講師	康 徳東	800,000	抗刷子縁抗体による近位尿管上皮傷害とミトコンドリア異常の関連性
		講師	澤 智華	1,400,000	褥瘡形成と修復における皮膚ランゲルハンス細胞の役割と細胞外核酸の治療応用
	解剖学/肉眼解剖学部門	講師	井上 由理子	1,100,000	ランゲルハンス細胞と知覚神経C線維の関係-褥瘡モデルマウスによる神経解剖学的解析
	生理学/生体制御学部門	教授	砂川 正隆	600,000	漢方薬によるオキシトシンの分泌促進作用
		講師	安達 直樹	900,000	周産期ストレスによる胎児神経幹細胞分化過程の攪乱と大脳白質形成への影響
講師		高山 靖規	700,000	植物由来天然化合物によるPiezo1阻害を介した大腸ガン抑制と正常細胞の保護	
基盤研究(C)	生理学/生体調節機能学部門	教授	泉崎 雅彦	500,000	呼吸性視覚フィードバックによる呼吸リハビリテーションの開発に向けた生理学的検討
		客員教授	鬼丸 洋	800,000	延髄呼吸循環中枢ニューロンの低酸素受容の細胞・分子機構の解明
	准教授	政岡 ゆり	600,000	嗅覚からアプローチする認知症予防法の創出 - 嗅覚刺激は神経を再生させるのか? -	
	助教	内田 有希	400,000	新規冷受容分子TREKと女性ホルモンに着目した女性の冷えのメカニズムの解明	
	生化学	教授	宮崎 章	700,000	NAFLDおよび耐糖能異常における肝血管内皮細胞由来分枝アミノ酸の意義
助教		折井 みなみ	800,000	もやもや病における細胞・組織障害のメカニズム解明	
臨床病理診断学	准教授	塩沢 英輔	200,000	甲状腺原発悪性リンパ腫におけるFOXP1/IGH 融合遺伝子発現の検討	
薬理学/医科薬理学部門	名誉教授	小口 勝司	600,000	悪性高熱症の遺伝子診断を目指した1型リアノジン受容体遺伝子変異体の作製と発現	
	講師	佐々木 晶子	700,000	乳がん患者の化学療法によるしびれ改善の冷却法とハンドセラピー併用技術の確立	
薬理学/臨床薬理学部門	講師	西村 有希	900,000	がん患者における健康食品と医薬品併用の安全性に関する研究	
	教授	内田 直樹	700,000	脳低温療法の復温期における鎮静薬投与管理アルゴリズムの策定	
衛生学公衆衛生学	教授	小風 暁	100,000	テレワーカーのプレゼンティーズムへのコーヒー飲用の影響に関する職域コホート研究	
	准教授	吉本 隆彦	600,000	オフィスワーカーにおける座位行動と運動器疼痛に関する縦断研究及び介入可能性の探索	

研究種目	所属/部門	職名	研究者名	内定額(円)	研究課題名
法医学	衛生学公衆衛生学	兼任講師	白澤 貴子	400,000	労働者における隠れ腹部肥満の疾病リスクに関する大規模前向きコホート研究
		教授(員外)	城 祐一郎	800,000	終末期医療における安楽死・尊厳死の法制化を目指すための国内的・国際的実態調査
	講師	草野 麻衣子	1,200,000	急性カフェイン中毒にCYP1A2と腸内細菌が与える影響の解明	
微生物学免疫学	教授	伊與田 雅之	1,100,000	腎疾患における2型自然リンパ球の関与	
	准教授	幸田 力	1,200,000	妊娠時におけるサイトメガロウイルス再活性化に関与する腸内細菌叢の機序解明	
	准教授	石川 裕樹	600,000	インフルエンザウイルス感染に伴う細菌二次感染易感性的な分子基盤解析と予防法確立	
	講師	久野 芳裕	1,100,000	腸内細菌のANCA関連腎炎への免疫学的関与の解明と病態制御への応用	
医学教育学	助教	長島 隆一	1,000,000	2型自然リンパ球に着目した慢性腎臓病の分子病態解明と治療応用	
	教授	緒方 浩顕	800,000	尿毒症環境下の心血管組織におけるVD-VDR活性化調節機構の解明	
	准教授	井上 嘉彦	600,000	高齢者慢性腎臓病に対するサルコペニア・フレイル予防を考慮した食事療法の開発	
	講師	若林 邦伸	500,000	関節液由来線維芽細胞の免疫表現型解析による関節リウマチの病態解明への挑戦	
内科学/リウマチ・膠原病内科学部門	助教	磯島 咲子	600,000	膠原病患者の疾患活動性と育児ストレス	
	助教	羽多野 美香	900,000	SLE患者の妊娠出産に関する診療の質指標開発と学会主導レジストリを用いた検証	
	普通研究生	城下 彰宏	2,200,000	再発性下気道感染症のデータベース構築と抗緑膿菌活性をもつ抗菌薬の有効性の検討	
内科学/呼吸器アレルギー内科学部門	普通研究生	辻本 康	1,400,000	文献レジストリ構築とリアルワールドデータによる膠原病予後因子の網羅的負荷推計	
	准教授	鈴木 慎太郎	200,000	シミュレーションシステムによる反復学修はアナフィラキシーへの対応能力を向上させる	
	講師	有泉 裕嗣	800,000	化学療法誘発性末梢神経障害の腫瘍神経免疫学的病態解析による定量評価法の開発	
	助教(医科)	平澤 優弥	1,300,000	Th17細胞のPD-1受容体結合率及びボドプラニン発現と臨床アウトカムの相関解析	
基盤研究(C)	准教授	松本 英成	700,000	ブランク内出血とハプトグロビン遺伝子多型から見た新たな冠動脈イベント予防戦略	
	准教授	磯 良崇	1,500,000	腫瘍循環器における末梢血マイクロRNAによる運動耐容能評価・運動処方開発	
	講師	荒井 潤	1,400,000	モノクローナル抗体を用いた自然免疫の賦活化による新規抗腫瘍治療法の開発	
内科学/循環器内科学部門	講師	三澤 将史	1,400,000	医師の内視鏡操作技術を定量化する人工知能を用いた教育システムの構築	
	講師	前田 康晴	1,300,000	潰瘍性大腸炎患者の行動変容を促すモバイルヘルスシステムの開発と効果検証	
内科学/消化器内科学部門	教授	本田 浩一	300,000	慢性腎臓病の栄養障害・サルコペニアの発症・進展とエビゲノム異常の関係	
	准教授	溝淵 正英	1,400,000	CKDのリン代謝異常による新規臓器毒性の探究	
	准教授	森 雄作	1,300,000	終末糖化産物を標的とした新しい男性不妊療法の開発	
内科学/腎臓内科学部門	准教授	福井 智康	1,300,000	糖尿病心筋症の新たな治療法の開発-終末糖化産物阻害アプタマーを用いた解析	
	講師	吉原 彩	900,000	甲状腺ホルモン合成調節機構における硫酸化とその機能の解明	
内科学/脳神経内科学部門	教授	村上 秀友	700,000	内因性ドパミンの賦活によるパーキンソン病の治療効果を予測する神経心理学的背景	
	准教授	金野 竜太	1,400,000	失語症患者の統語機能を支える脳内ネットワークの構造的再編メカニズムの解明	
外科学/小児心臓血管外科部門	助教	堀尾 直裕	1,200,000	アミノ基付DLCコーティング人工血管開発と、官能基がDLCに及ぼす効果の検討	
	教授	青木 武士	100,000	消化器癌における術中リアルタイムがん診断自動解析システムの新規開発	
外科学/消化器一般外科部門	教授(員外)	大塚 耕司	400,000	より安全な低侵襲下手術を目的としたエネルギーデバイスによる熱損傷の検証	
	准教授	福島 光浩	800,000	頸部術後出血による創部内圧上昇に伴う気道閉塞を防止する創部内圧持続測定法の開発	
	講師	加藤 容二郎	700,000	少子化対策としての心停止下提供子宮移植普及へ向けた基礎研究(動物実験モデル)	
	講師	山下 剛史	2,000,000	終末糖化産物測定による新たな食道癌手術侵襲評価マーカーの開発	
	講師	松田 和広	600,000	肝腫瘍に対する肝表層血管構造のAI診断に基づくリアルタイム解析システムの開発	

研究種目	所属/部門	職名	研究者名	内定額(円)	研究課題名
基礎研究(C)	外科学/乳腺外科学部門	教授	林直輝	300,000	原発乳癌リンパ節転移陽性患者における術前化学療法後腋窩郭清省略の多施設共同研究
	整形外科	教授	工藤理史	900,000	首下がり症の病態解明と治療戦略の確立
		客員教授	平泉裕	700,000	損傷脊髄に生着しやすい骨髄間葉系幹細胞の特性化と予見的選択法の開発
		講師	石川紘司	1,200,000	高齢者の手術リスクを可視化する：合併症予測モデルを基軸とした最適な術式選択
	リハビリテーション医学	教授(員外)	笠井史人	600,000	周期期のための遠隔プレハビリテーションシステムの開発とその効果検証
		准教授	永井隆士	1,000,000	腹筋仙骨間距離が嚥下機能におよぼす病態の解明
		兼任講師	和田真一	1,100,000	「主体性」が中途障害者の生活を改善させるー主体性評価に基づく関わり方の効果ー
	産婦人科学	教授	関沢明彦	1,400,000	妊婦血漿中cfDNAのゲノム解析データを用いた周産期予後の評価法の開発
		教授(員外)	市塚清健	800,000	次世代型HIFUトランスデューサを用いた病的胎盤に対する非侵襲治療に向けた基礎的検討
		教授(員外)	松本光司	900,000	HPVワクチン接種後の血清抗体：発症予防抗体価と持続期間の検討
講師		小貫麻美子	400,000	HPVワクチンの有効性：ブレイクスルー症例の解析	
講師		川嶋章弘	900,000	妊娠高血圧腎症発症のメカニズムの解析：妊娠初期の胎盤のエピゲノム異常の解明	
皮膚科学	助教	小松玲奈(香川)	900,000	深層学習を用いた総肺静脈還流異常症の超音波画像診断支援技術の開発	
	教授(員外)	渡辺秀晃	1,100,000	三次元立体構造解析・モデルマウスを用いたSJS/TEN治療薬の開発	
	助教(医科)	雷小峰	700,000	シングルセル解析を用いた全身性強皮症新規標的分子の解析	
	助教(医科)	村山正和	1,000,000	微小環境におけるインテグリンの免疫応答作用機序の解明	
	教授(員外)	藤井隆成	400,000	3Dプリンティングによる動脈管ステント留置最適化アルゴリズムの構築	
小児科学/小児循環器内科学部門	准教授	喜瀬広亮	500,000	先天性心疾患における術後リンパ管合併症の発症予測と早期診断法の確立に関する研究	
	助教	加藤真理子	900,000	非造影MRIによる先天性心疾患患者のリンパ管の形態評価に関する研究	
	教授	水野克己	300,000	極低出生体重児に対する経母乳ヒトサイトメガロウイルス感染症対策	
小児科学/小児内科学部門	教授(員外)	今井孝成	1,300,000	鶏卵アレルギー経口免疫療法の舌下免疫療法併用効果に関するランダム化対照比較試験	
	准教授	中野有也	600,000	極低出生体重児の体組成正常化および神経学的予後改善をめざした栄養管理の検討	
	講師	宮沢篤生	700,000	早産児に対する亜鉛早期補充の臨床的検討	
精神医学	教授	岩波明	1,000,000	アイトラッカーを用いた成人期発達障害の共同注意に関する研究	
	教授	稲本淳子	400,000	認知機能を軸とした急性期の気分障害における評価と包括的支援の開発及び効果の検証	
	准教授	戸田重誠	1,100,000	ADHDの世界認識はなぜ「ズレ」なのか；表現学習における質的・量的変化の検証	
	准教授	真田建史	1,300,000	脳機能イメージングによるうつ病の腸脳連関の解明	
放射線医学/放射線治療学部門	講師	加藤正子	300,000	AIを活用した食道がん術後再発に対する放射線治療の効果予測	
	助教(医科)	豊福康介	1,100,000	新MRI解析方法NODDIを活用した全脳照射後における認知機能低下の原因探索	
若手研究	生理学/生体制御学部門	講師	奥茂敬恭	1,000,000	変形性膝関節症に対する防己黄耆湯の治療効果に関する基礎的解析
		助教	池本英志	900,000	NAMPTをターゲットとした変形性膝関節症に対する電気鍼治療効果の基礎的解析
	生化学	助教	宮内彩	1,400,000	メカニカルストレス応答性分子を標的とした新規心不全治療への展開
		ポストドクター	田辺桃子	1,300,000	統合失調症関連遺伝子WDR3欠損による認知機能および疾患感受性への影響
	臨床病理診断学	助教	佐々木陽介	700,000	リンパ節穿刺吸引細胞診における細胞塗抹標本の補助的診断手法利用に向けた検討
	薬理学/医科薬理学部門	講師	細沼雅弘	1,500,000	肺癌微小環境のiRhom1/2バランス制御による抗腫瘍免疫の活性化
		講師	水上拓也	900,000	冠動脈びまん性病変の病理病態の解明ー包括的治療戦略の構築を目指した疾患群の確立ー
	内科学/リウマチ・膠原病内科学部門	講師	石井翔	500,000	関節リウマチ骨破壊に関わる細胞間ネットワークを制御するADAM10の機能解明
		助教	宮田祐人	800,000	喘息患者における広域周波オシレーション法での呼吸抵抗に基づいた新規治療法の探求
	内科学/呼吸器アレルギー内科学部門	兼任講師	井上英樹	1,000,000	気道上皮角層蛋白発現と気道上皮バリアー機能を改善する新規喘息治療法の開発
兼任講師		平井邦朗	200,000	COPD患者におけるフレイル発症・進行因子の特定	
内科学/腫瘍内科学部門	講師	大熊遼太郎	1,400,000	免疫療法不応の克服に向けた可溶性免疫チェックポイントの解析及び腫瘍治療への応用	

研究種目	所属/部門	職名	研究者名	内定額(円)	研究課題名
若手研究	内科学/循環器内科学部門	助教	辻内美希	700,000	肥大型心筋症における心臓リハビリテーションの有効性の検証と評価法の確立
		講師	一政克朗	1,000,000	StageII大腸癌の術後化学療法の必要性を判断する、人工知能システムの開発
	内科学/消化器内科学部門	助教	神山勇太	1,500,000	大腸癌の遺伝子サブタイプを予測するAI内視鏡診断システムの確立
		兼任講師	工藤豊樹	500,000	大腸腫瘍に対するEndocyt(超拡大内視鏡)診断体系の基盤確立
	内科学/腎臓内科学部門	講師	加藤憲	2,100,000	iPS細胞から誘導した腹膜上皮細胞移植治療の有用性の検討
		講師	佐藤芳憲	300,000	孤発例、家族内発症例の比較によるIgA腎症の原因遺伝子の探査
	内科学/糖尿病・代謝・内分泌内科学部門	助教	大坂直也	700,000	終末糖化産物を標的としたフレイルに対する包括的な治療手段の開発
		講師	二村明德	800,000	忘れた時をつなぐ“ことば”の探求
	内科学/脳神経内科学部門	助教	森友紀子	1,600,000	認知症に対する非薬物療法の効果を可視化する評価方法の探求
		兼任講師	杉本あずさ	(※) 0	アルツハイマー病における時間認知障害ー関係発達論による神経心理学の展開ー
外科学/呼吸器外科学部門	講師	植松秀護	300,000	胸郭周囲径計測器を用いた肺切除後呼吸器合併症軽減の試み	
外科学/小児心臓血管外科学部門	助教	佐野俊和	500,000	CRISPR/dCas13を用いた拡張型心筋症の治療標的となるRNA配列マッピング	
外科学/乳腺外科学部門	講師	垂野香苗	1,300,000	乳癌術前化学療法後の腫瘍修復を標的とした新規手術・診断システムの開発	
	講師	増田紘子	(※) 0	Insight TNBCtypeによるsubtype/分子標的薬治療の確立	
整形外科	講師	岡野市郎	500,000	脊椎術後骨量減少の診断・治療法の確立	
	助教(医科)	関水壮哉	1,000,000	骨化性線維粘性腫瘍における新規融合遺伝子の臨床的意義と作用機構の解明	
	助教(医科)	百々悠介	855,205	髄鞘を標識した遺伝子改変メダカを用いた骨折治癒過程における髄鞘の動態解明	
産婦人科学	講師	瀬尾晃平	1,400,000	CDH1に対するFETO後のバルーン除去ーHIFUによる新規胎児治療法の開発ー	
	助教	後藤未奈子	1,100,000	AGEsに着目した妊娠高血圧症候群の発症機序の解明とプレコンセプションケアへの応用	
耳鼻咽喉科頭頸部外科学	講師	洲崎勲夫	100,000	慢性副鼻腔炎におけるバイオマーカーとしてのペリオスチンの有用性の検討	
小児科学/小児内科学部門	講師	岡田祐樹	1,000,000	異なる生活環境における腸内細菌叢の違いに着目したアレルギー疾患発症因子の解明	
	普通研究生	田中未央里	900,000	食品因子の新たな骨破壊予防戦略：肥満に伴う破骨細胞分化とアポトーシス制御	
泌尿器科学	助教	松井祐輝	1,400,000	化学療法誘発性末梢神経障害への冷却療法に対する血流スコープ評価と新規治療法の開発	
放射線医学/放射線治療学部門	講師	原田堅	900,000	局所進行食道がん根治治療術に併用可能な抗生物質溶出性カバードステントの開発	
麻酔科学	講師	幸塚裕也	900,000	コーンビームCTは閉塞性睡眠時無呼吸に対する口腔内装置治療の効果予測に有用か	
	講師	細川幸希	200,000	妊娠高血圧症候群における脳脊髄液の比重変化と脊髄も膜下麻酔範囲への影響	
救急・災害医学	講師	山村彩(池田)	200,000	全身麻酔下で開口を障害する顎顔面リスク因子の検討と開口障害予防口腔内装置の開発	
	准教授	垂水庸子	900,000	転倒から急性疾病を見抜く救急外来向けチェックリストの開発と検証：AI応用への挑戦	
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))	整形外科	助教	鈴木恵輔	1,600,000	熱中症における熱産生調節機構の解明と予防戦略の確立
		講師	石川紘司	11,900,000	「骨の質」を基盤とした術後合併症予測モデルの国際展開

※研究中断に伴う継続課題につき、今年度の配分金なし

次号(Nov. 2023)では、歯学部と薬学部の一覧を掲載する。

学内会議報告



就任のお知らせ(7月11日 理事会承認)

医学部産婦人科学講座担当 教授
[勤務地：昭和大学病院産婦人科]



松本 光司

医学部産婦人科学講座担当 教授(員外)
[勤務地：昭和大学病院産婦人科]
任命日：令和5年7月1日

横浜自然教育園 園長



鈴木 久義

現：保健医療学部長
任期：令和5年7月11日～令和8年3月31日

理事会関係

◆令和5年度 学校法人昭和大学職員数(令和5年5月1日時点)

【教育職員合計】 2,192名

【教育職員以外合計】 5,314名*

【職員合計】 7,506名

※臨床研修医、臨床研修歯科医、臨床研修薬剤師を含む

◆令和5年度 学校法人昭和大学奨学生採用状況

【採用者数】 70名

【貸与総額】 35,000,000円(内訳：500,000円×70名)

◆寮生活費改定

入学時における経済的負担を軽減するため、寮生活費(1年次富士吉田キャンパスでの寮費、食費、寝具等)を減額する。

【寮生活費】 改定前 827,000円

改定後 800,000円(令和6年度から適用)

◆「就業規則(専任職員・契約職員・パートタイム職員)」改正

【改正趣旨】

〈専任職員・契約職員〉

裁判員制度において、「裁判員候補者」または「裁判員」に選任された場合、その職務に従事する期間を特別休暇として認める。

〈パート職員〉

懲戒のうち「減給」および「降格」は、パート職員に当てはまらないことから、規則上の記載を削除する。

【施行日】 令和5年4月1日

◆「昭和大学安全保障輸出管理規程」制定

【制定趣旨】 外国為替及び外国貿易法において業として貨物の輸出や技術の提供を行う者は適切な貨物の輸出や技術の提供を行うことが義務付けられており、本学における安全保障輸出管理を適切に実施するために必要な事項を定めた。

【施行日】 令和5年7月1日

◆特許権に係る実施補償金支給

【発明の名称】 ①医療用姿勢保持用具(伏臥位用)

②医療用姿勢保持用具(脳外科用)

③頭部支持用具

【実施料収入金額】 30,037円

※本研究に関する特許権を使用した対価として、株式会社ホープスから昭和大学へ支払われた金額

【実施補償金(分配割合)】 大 学(60%)：18,023円

発明人(40%)：12,014円

学務関係

◆Chat GPT等の生成AIの利用について

学生に向けて、6月6日付で学長名による注意喚起文を大学ホームページに掲載したほか、ポータルサイトで周知した。教育職員に対しても、授業等で課題やレポートを学生に課す場合の留意事項などを各学部の教育委員会・教授総会等を通じて周知した。

◆令和5年度 昭和大学父兄会総会について

昭和大学父兄会総会を上條記念館で開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での開催は4年ぶり。終了後は、各学部に分かれての部会、地下1階富士楼で懇親会が行われた。懇親会にも多くの保護者に参加していただき、教育職員も交えて参加者間の親睦を深めていただいた。

【開催日時】 令和5年6月10日(土) 13:00

【出席者数】 400名(4学部合計)

◆令和5年度 昭和大学父兄会秋季部会の実施について

以下の日程で、対面にて開催する予定。また同日に行う指導担任・修学支援担当教員と保護者との面談は、対面での実施を原則とする。

富士吉田キャンパス

【開催日】 令和5年10月7日(土)

【対象】 医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部1年生の保護者

旗の台キャンパス

【開催日】 令和5年10月21日(土)

【対象】 医学部・歯学部・薬学部2～6年生の保護者

横浜キャンパス

【開催日】 令和5年10月21日(土)

【対象】 保健医療学部2～4年生の保護者

なんでもご相談下さい。

医学堂書店

有限会社 医学堂書店
〒142-0064 東京都品川区旗の台1-11-9
TEL 03-3783-9774 FAX 03-3783-3156
Email igakudo@peridot.bforth.com

あなたには眠りやすい角度がある。
「入眠角度」という新提案。

ベッドが動けば、眠りは変わる。
Active Sleep BED

パラマウントベッド株式会社
東京支店 〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号
www.paramount.co.jp (03)3648-1171(代)

— 生協は学園生活のパートナーです —

昭和大学生生活協同組合

旗の台：3788-2322(内線)8268 アミ：3785-9729(内線)8369
吉田：0555-23-8505 洗足：3787-4432 横浜：045-985-9624

昭友商事株式会社

昭和大学の皆さまへ
便利なサービス・商品を提供します!

昭和大学富士吉田の天然水 イベント業務委託
昭和大学オリジナルワイン ローソン&タリーズ
QUOカード・VJAギフトカードなど その他色々!

お気軽にお問い合わせください! ☎ 3784-8280

i Information

詳細・更新情報は各部署へお問い合わせください。

統括研究推進センター事務局

2023年度臨床研究に関する倫理講習会の動画公開のお知らせ

昭和大学では、「臨床研究」から「カルテを用いた疫学研究等」まで、人を対象とした研究を実施される全ての研究者等（研究責任者、分担研究者、個人情報管理担当者を含む）は、1年に1回この教育を受けることが定められており、そのための倫理講習会をWebで公開しております。

このたび、「臨床研究に関する倫理講習会」の動画につきまして、講習内容を下記のとおり更新いたしましたので、ご視聴いただけますようお願いいたします。

なお、受講後にGoogleフォームによる確認テストを受けて10問中8問以上正解しないと受講したとみなされませんので、ご注意ください。

また、臨床研究の倫理審査申請時には、本講習会を1年以内に受講していることが必須となっておりますので、ご注意ください。

※受講した情報が倫理審査システムに反映するのは翌日以降（土日祝日を除く）となります。

- 【主な変更点】
- 1) 研究指針の改正のポイントについて
 - 2) 個人情報保護法の改定について
 - 3) 研究不適合への対応事例

【公開日】2023年6月28日(水)～

【公開場所】昭和大学（学外）ホームページ > 研究 > 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会 > 臨床研究倫理講習会

お問い合わせ 昭和大学統括研究推進センター

臨床研究支援課

電話：03-3784-8129

メール：m-rinri@ofc.showa-u.ac.jp



昭和大学学生会

第70回昭和大学学生会総会

【日時】2023年12月2日(土) 13:00～17:00

【会場】昭和大学4号館およびLive配信

1. 一般演題、学位論文内容発表
2. 年次報告
3. 昭和大学学生会学術奨励賞授与
4. 教育講演 〈Live配信も行います〉

演題	演者
1) 薬理科学研究センターの新たな取り組みについて～昭和大学の特色を生かした研究センターのモデルを目指して～	昭和大学医学部 薬理学講座(医科薬理学部門)教授 木内 祐二
2) 睡眠時ブラキシズム研究の現状と未来	昭和大学歯学部 歯科補綴学講座 教授 馬場 一美
3) がんゲノム医療における保健医療学分野の担う役割	昭和大学保健医療学部 看護学科 教授 渡邊 知映

Live配信のお申込み等詳細は、昭和大学学生会ホームページにてご案内しています。

お問い合わせ 昭和大学学生会

電話：03-3784-8074

メール：gakushikai@ofc.showa-u.ac.jp



リカレントカレッジ事務局

令和5年度 昭和大学リカレントカレッジ 秋期プログラム受講生募集中

リカレントカレッジでは、令和5年度秋期プログラム受講生を募集しています。全39講座を取り揃えた秋期プログラムでは、オンライン講義や対面とオンラインを併用したハイブリッド講義もあり、ライフスタイルに合わせての受講が可能となっています。今回は11月以降に開講する講座をご紹介します。資料請求・講座申し込みはリカレントカレッジホームページをご覧ください。

11月開催	プログラム名	講師(敬称略)	申込締切
	シミュレーションで学ぶICUリハビリテーション～模擬ICUで学び直し～	田代 尚範	
	生活習慣を見直して健康寿命を延ばそう!	小風 暁	
	いざという時に困らない! 認知症との向き合い方～人生100年時代を自分らしく生きるために～	作田 浩行	2023年 10月15日(日)
	社会人のためのよくわかる「営業」講座～営業職を楽しみながら、業績を上げ続けるために～	藤本 康久	
	年代別女性の健康と働き方～ワーク・ライフ・バランスとヘルスケアを考える～	有馬 牧子	
12月開催	プログラム名	講師(敬称略)	申込締切
	ゲームとシミュレーションで学ぶ フィジカルアセスメント	川原 千香子	
	60代になったら始めよう! 人生が豊かになる! 姿勢・歩き方講座	岡山 知世	2023年 11月15日(水)
	“自ら学ぶ”自ら守る おとなのアレルギー・アナフィラキシーショック	鈴木 慎太郎	

1月開催	プログラム名	講師(敬称略)	申込締切
	医療従事者のための英会話講座～応用編～	橋本 みゆき	
	シミュレーションで学ぶICUリハビリテーション～模擬ICUで学び直し～	田代 尚範	2023年 12月15日(金)
	健康的なからだ作りに役立つ東洋医学の基本を学ぼう～健やかに春を迎えるために～	砂川 正隆	

2月開催	プログラム名	講師(敬称略)	申込締切
	ゲームとシミュレーションで学ぶ フィジカルアセスメント	川原 千香子	2024年 1月15日(月)

※定員に達し次第、受付を終了いたします。

お問い合わせ 昭和大学リカレントカレッジ事務局

電話：03-3784-8143

メール：recurrent@ofc.showa-u.ac.jp



リカレントカレッジでは講師を募集しています。同窓生も講師として活躍中です。

認定看護師教育センター

2024年度 昭和大学認定看護師教育センター入学試験

認定看護師教育課程の受講生を募集します。

下記内容について入学試験を実施します。

【募集期間】2023年10月30日(月)～2023年11月21日(火)

【試験日程】2023年12月9日(土)

【募集分野・定員】

認定看護師教育課程 B課程	定員
手術看護分野	16名
腎不全看護分野	16名
認知症看護分野	16名
感染管理分野	16名
クリティカルケア分野	16名
認定看護師教育課程 編入学	定員
手術看護分野 編入学	若干名
腎不全看護分野 編入学	若干名
認知症看護分野 編入学	若干名
感染管理分野 編入学	若干名
クリティカルケア分野 編入学	若干名

認定看護師教育課程 特定行為研修	定員
手術看護分野 (術中麻酔管理領域パッケージ)	若干名
腎不全看護分野 (透析管理関連、 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連)	若干名
認知症看護分野 (神経及び精神症状に係る薬剤投与関連、 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連)	若干名
感染管理分野 (感染に係る薬剤投与関連、 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連)	若干名
クリティカルケア分野 (呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連、 循環動態に係る薬剤投与関連、 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連)	若干名

【受験資格】

〈共通要件〉

- (1) 日本国の看護師免許を有する者
- (2) 看護師として5年以上の実務研修を有する者(2023年12月末時点見込)
- (3) 各看護分野での通算3年以上の看護実績を有すること。
- (4) 各看護分野での5例以上の看護実績を有すること。

〈編入学〉

(1) 各看護分野での特定行為研修区分別科目を修了していること。
(特定行為研修)

(1) 各看護分野での認定看護師の資格を有する者
募集要項および詳細については、QRコードよりご確認ください。

お問い合わせ 昭和大学認定看護師教育センター

〒142-0064 東京都品川区旗の台1-8-12

電話：03-3784-8794

メール：showantei@nr.showa-u.ac.jp



上條記念ミュージアム

50年記念館にて 学生クラブの歴史紹介展開催中

上條記念ミュージアムで行われていた第4回企画展「学生クラブの歴史紹介展 第2弾」は、大学50年記念館(7号館)1階展示室へ移設し、第1弾で紹介したクラブと合わせて8クラブの活動を引き続き紹介しています。

【開館】月曜日から金曜日 9:00～18:00(予約なく見学自由)

【紹介クラブ】アイスホッケー部/メディカルオールスターズジャズオーケストラ部/グリークラブ/白馬診療部/北岳診療部/医学部硬式野球部/陸上競技部/救急医療研究部



上條記念ミュージアム共々、皆さまのご来館をお待ちしております。

お問い合わせ 昭和大​​学上條記念ミュージアム

電話：03-3784-8031

メール：museum@ofc.showa-u.ac.jp

総務部

昭和大​​学サポート寄付制度にご協力いただいた方

【創立100周年に向けてへの寄付】

同窓／桜井 洋 様（医学部・41回生）、鈴木メディカルクリニック
鈴木泰志 様（医学部・58回生）、松井 住仁 様（医学部・45回生、薬学部・5回生）、吉田 篤正 様（医学部・45回生）
職員（50音順）／有賀 徹 様、板部 洋之 様、岩渕 成祐 様、崔 昌五 様、齋藤 州 様、佐々木 真 様、鈴木 慎太郎（呼吸器・アレルギー-内科）様、高橋 寛 様、中村 清吾 様、船津 敬弘 様、益永 純子 様、松井 庄平 様
一般／株式会社リジョイスカンパニー 様、昭友商事株式会社 職員 様、昭友商事 佐藤 誠 様、昭友商事 仙波 園美 様、昭友商事 中村 亮 様、昭友商事 長谷 悦子 様、昭友商事 深尾 康弘 様、昭友商事 丸地 伸 様、富士テレコム株式会社 様

【教育研究協力資金への寄付】

父母／陣内 洋明 様、吉田 勝哉 様

【医学部への寄付】

同窓／鈴木メディカルクリニック 鈴木泰志 様（医学部・58回生）

【歯学部への寄付】

父母／名和商工株式会社 様

同窓／歯学部6期生一同 様

【横浜市北部病院への寄付】

一般／マツカワ アキラ 様

【各クラブ・学生会への寄付】

一般／医療法人社団ユニメディコ 理事長 立野 慶 様

【その他の寄付】

同窓／横川 秀男 様（医学部・49回生）

※収納期間：6月1日～7月31日

総務課大学広報係 「SHOWA UNIVERSITY NEWS」 2024年1月号（新年号） 表紙写真の募集のお知らせ

新年号の表紙を飾る写真を募集します。
皆さまからのご応募をお待ちしております。

- 【条件】** ◇デジタルカメラまたはスマートフォン搭載カメラで撮影されたデジタル画像（カラー・縮小していないもの）
◇ファイル形式：JPGまたはPNG
◇画素数：短辺2,000px以上、長辺3,000px以上のもの
◇風景写真（人物・絵画はNG）
◇自作未発表のもの

- 【備考】** ◇掲載時に誌面に合わせて写真をトリミング処理します
◇撮影後の写真について、合成等の過度な加工は選外になる場合がありますのでご注意ください

- 【応募方法・お問い合わせ】** 応募写真はメールへのデータ添付、もしくはファイル転送サービスをご利用ください。

- ◇氏名（ふりがな）、大学との関係（学生・職員・卒業生など）、撮影場所を明記。※氏名、撮影場所を掲載しますのでご了承ください
◇締切 2023年10月20日（金）
◇送付先 学校法人昭和大​​学 総務部 総務課 大学広報係
メール：press@ofc.showa-u.ac.jp

今号の表紙写真

表紙は6月24日の寮祭初日の記念撮影から。今年のスローガン「千紫万紅」にふさわしいカラフルなユニフォームは、よく見ると細かい配色やデザインが様々にあります。指導担任のコンパごとに作られたオリジナルTシャツに富士吉田の結束の強さとホスピタリティがうかがえます。現在は後期のカリキュラムが始まり、至誠一貫の心で実習に臨んでいることでしょう。引き続き本誌で学生生活や課程の取り組みをご紹介します。



SHOWA
UNIVERSITY
NEWS vol. 6

September 2023
昭和大​​学新聞 通巻第615号
令和5年9月30日発行
年6回発行



学校法人 昭和大​​学 (03) 3784-8000
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8

【本誌について】

発行人 | 小口 勝司

編集 | 総務課 大学広報係
(03) 3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp

ご意見やご感想、各種情報をお待ちしています。

制作・印刷 | 株式会社ダイヤモンド・グラフィック社



【各種募金・寄付について】

企画課 | (03) 3784-8387

【学事について】

学務課 | (03) 3784-8022 (旗の台)
(0555) 22-4403 (富士吉田)
(045) 985-6503 (横浜)

大学院課 | (03) 3784-8793

入学支援課 | (03) 3784-8026